

第15回厚別区防犯ネットワーク会議 会議録

1 日時・会場

平成31年1月29日（火） 10:00～11:30
厚別区役所2階 会議室C

2 出席者（敬称略）

千葉 智明（小学校長会厚別支部）
佐藤 圭介（厚別区PTA連合会）
畠山 清子（厚別中央まちづくり会議）
横山 正則（厚別西地区まちづくり会議）
栗原 佐外夫（厚別東地区まちづくり会議）
山本 康次（札幌市厚別区保護司会）
大川 博（厚別区中学校長会）
田中 昭夫（札幌市子ども会育成連合会）
中川 昌彦（札幌方面厚別警察署）
神 昭一（厚別警察署少年補導員連絡協議会）
大川 和則（北海道コカ・コーラボトリング㈱）
阿部 武仁 厚別区市民部長
松野 彰 厚別区市民部総務企画課長
櫛引 重一 厚別区市民部総務企画課地域安全担当係長
柴田 肇 厚別区市民部総務企画課地域安全担当係

3 会議内容

- それでは、以降の進行につきましては、千葉代表にお願いしたいと思います。
よろしくお願いいたします。
- それでは、進めさせていただきます。
まず、下校時（放課後）の見守り体制について、事務局から説明をお願いいたします。
- 下校時の見守り体制についてご説明させていただきます。
お手元の資料1をご覧ください。
その前に、少し前段の説明をさせていただきます。
昨年5月に新さっぽろ駅近くで塾帰りの児童が殴られるという事件が発生いたしました。また、11月には厚別西地区で自転車に乗った男に児童が蹴られるという事件が発生いたしました。いずれも放課後の時間帯に起こっております。また、これ以外にも、

厚別警察署からの不審者・変質者情報によりますと、区役所で把握しているだけでも児童が被害に遭った等の情報がこのほかに5件ほどあります。

では、資料1の裏面の6をごらんください。

これは少し前の調査になるのですが、平成28年12月に開催いたしました第11回防犯ネットワーク会議で報告した厚別区の小学校6年生全員を対象としたアンケート結果です。

6にございますように、皆さんが安全に家に帰れるよう通学路に立ってくださっている大人は何人くらいいますかという質問に対して、朝の見守りの人数は多いのですが、帰りは少ないという結果が出ております。

また、区役所では、各小学校区での学校やPTA、そして、地域、関係する団体や機関の皆様と一緒に登下校の見守りを中心とした取り組みでありますスクールゾーン実行委員会に出席させていただいておりまして、子どもの安全・安心のために関係の団体が連携して取り組むことの大切さについて情報を共有させていただいているところですが、今の6と同じく、地域や学校から三つほどご意見をいただいております。

一つは、子どもが安全に登下校できることが学校や地域の願いですが、地域の目の行き届かない場所や時間帯があるということです。二つ目は、車両や不審者に対して地域が見守っていることを見せることが大切ですが、活動者が少ない中で見守りの体制が行き届いていないということです。三つ目は、いろいろな団体の皆様にそれぞれの地域で活動していただいているのですが、子どもの見守りを縦割りで行っていただければ対応できないということです。

子どもの見守りの視点から地域の関係する団体が連携して、下校時、放課後の時間帯において、いかに子どもたちが被害に遭わないよう見守っていただくということが現在の課題となっている状況です。

以上です。

○ ありがとうございます。

今、事務局から説明があったことについて、皆さんからのご意見、それから、地域で行っている対応策などがありましたら伺っていただきたいのですが、いかがでしょうか。

○ 青パト隊の状況は把握していますか。

○ 昨年5月の新さっぽろでの事件の際には、信濃小学校等の青パト隊に安全パトロールの依頼をしているということをこちらで確認しています。あとはそれぞれの個別の活動でして、スクールゾーン実行委員会のメンバーの中に青パト隊の方が入っている学校におかれましては、それぞれの地区での活動についてご説明いただいているところです。

○ 不審者などが発生した場合、警察からもその地域の青パトに要請します。

そして、先ほど説明があったとおり、11月に起こった高架下で自転車に乗っている男に蹴られたという事件もあるのですが、その時間帯に私たちでも張り込みをしているし、青パトの方々にもお願いして回っていただいているのが現状です。そして、何かあれば、私たちからも要請しております。

○ 6に関連することです。

青パト隊については、放課後なども自主的に回っている地域もあると思うのですが、朝に比べて夕方の対応が少ないということでしたので、青パト隊の活動についても把握しておく必要があると思いました。また、この会に青パト隊の方が出席していただくような仕組みができるのでしたら、入っていただいたほうがいいのではないかと思います。

- 私のところは森林公園町内会です。私が防犯を担当しております、青パト隊を5台所有しております。西町連では7、8台あると思います。

私どもは、月2回の定期的なパトロールしておりますが、先ほど警察から報告がありました昨年の事案に関して要請を受けて出ております。そのほか、北広島のコンビ二強盗、あるいは、不審者が発生したときには、その都度、要請を受けて出動させております。全員がそろうとは限らないものですから、都合のいい人だけをピックアップして、それぞれ出動してもらっています。

それから、西町連についてに報告させていただきますと、町連としましては、警防情報連絡会議を構成しております。警察署、消防署、消防団、区役所、地区センター、小学校、まちづくりセンターのメンバーで構成されておまして、年2回、意見交換をして情報共有をしております。

この中で、見守り、パトロールを月2回実施しておりますとともに、中学校からの要請を受けまして、部活後の下校時の見守りパトロールを週1回実施しております。また、森林公園のほうでは、先ほど言いましたように、月2回のパトロールとスクールガードに合わせ、あまり定期的にやっていると不審者もなれてしまうものですから、不定期ということで、月1回、5台の青パト隊を出動させております。

それから、最近では、町内にありましたスーパーと飲食店が相次いで撤退しまして、1件ありましたガソリンスタンドも撤退したため、人の集まる場所がだんだん少なくなりまして、防犯体制としてはいかがなものかと思っておりますが、今のところはそういった状況の中でパトロールを実施しております。

以上です。

- ありがとうございます。

では、青パト隊の話も含め、各地区町内会のお話を聞かせていただければと思います。畠山さん、いかがでしょうか。

- 私は、実は平成30年度に交代いたしまして、内実をよくわかっていないのが正直なところで、田中会長のほうがかえってよく押さえていらっしゃるかと思います。

私が所属しております厚別中央振興会は、青パトが2台あります。ただ、ほかの役も兼ねている方がやっているものですから、なかなか十分に回れておりません。役員に青パト隊をやってほしいという要請を何度もされているのですが、なかなか難しいという状況がありまして、うちの町内会では十分に機能しているとは言いかねるのが正直なところです。

ただ、不審者情報などがありました場合、必ずファクスが入りますので、役員に連絡を回しまして、できるだけ自分の身の回りの見守りをしてほしいということを情報提供

して、それぞれに見回っているというのが現状です。

田中会長、いかがですか。

- 一番の課題は夕方だと思います。夕方はまだ少し手薄かもしれません。朝につきましては、うちは6つの区分町内会があるのですが、それぞれの町内会で自主的な取り組みをしていて、朝は何人かずつ交差点に立っていますので、結構あちこちにいると思います。

- ありがとうございます。

栗原さんはいかがでしょうか。

- 私は、厚別東ひまわり町内会の副会長をやっております栗原です。防犯、防災を担当しております。

現在、町内会の加入世帯が1,025世帯でありまして、これはここ数年変わっておりません。

また、町内会での見守り活動としては、1年間を通して、近くに小野幌小学校があるものですから、1年生の下校時にパトロールを行っております。毎週火曜日は役員と防犯部員の5人体制で、毎週金曜日は老人クラブの方が行っております。

この活動は、もう十数年以上前から行っておりまして、今後とも継続していきたいと思っています。

また、小野幌小学校ですが、昨年、開校120年の記念式典がありました。児童数も580人前後とあまり変わっていないようです。さらに、ほかの行事として、子どもと一緒に、夏休み期間中、近くの公園で朝6時半からラジオ体操を行っておりまして、毎日、町内会の皆さんと小学校の児童で150人ぐらいに参加していただいております。

もう一つ、8月の初めに町内会の夏祭りがありまして、毎年、4～500名ぐらいの方に参加していただいております。子どもたちにもたくさん参加していただいて、盆踊りやゲーム等に協力してもらっておりまして、この活動も今後とも継続していきたいと思っています。

また、近くに厚別中学校があるのですが、花いっぱい運動ということで、6月初めに厚別中学校の生徒と一緒に国道12号のところに花を植えております。それから、年に1回、中学校の生徒と防犯訓練を学校の中で行っております。さらには、近くに北星学園高校があるのですが、福祉除雪ということで、近所のお年寄りの方の家に行って玄関前の除雪をしていただいております。今年はもう終わったのですが、生徒が50人ぐらいと町内会関係十数人ぐらいで行っております。

こういう活動も今後とも継続していきたいと思っています。

- ありがとうございます。

今、青パト隊を切り口としたお話が始まったところですが、実は、今は15校ある小学校が来年は14校に減ってしまうのです。学校が減っていくと、一つの学校がカバーしないとまらない校区が広がっていくのです。

先ほども話題になっていましたが、実は、子どもが高架下のところで蹴られたと言っていたのは三つの学校が絡んでいる場所でした。

話は戻りますが、これからは学校がどんどん減っていく傾向がしばらく続きます。ですから、そういう事故があったときに見守る体制も広がっていけばと思っております。

このほか、働き方改革ということが言われています。ですから、何かあったときにはもちろん職員を行かせますけれども、毎日のように見回りなさいとはなかなか言えない状況になっています。そういう難しい中、連携していくことがすごく大事になってくると思っております。

先ほどお話を聞いていて、新鮮というか、びっくりしたのですが、下校時だけではなく、部活後の下校に合わせて見回りをされているような地域もあるということでした。私と同じ地域ですが、中学校から見たらどういうご意見をお持ちでしょうか。

○ 中学校校長会で指導部を担当しております大川と申します。

部活の終わる時間はさまざまです。学校によってということもあるのですが、一般的には夏時間と冬時間ということで、大体は午後6時、土曜日は6時半、中体連前には7時に下校と3段階になっております。それが地域の皆様方に周知されているかというと、なかなかされていないのです。保護者の方には、この期間については午後7時になる場合がありますとか、11月をもって5時半までの活動を終えて、6時下校になりますというの周知しております。自然災害というか、吹雪や風が強い場合については、部活の顧問と一緒に回ったりすることも数回あると思います。ただ、今もお話があったように、地域の方に1週間に1回とか見守りをいただけるのは大変ありがたいことです。

というのは、部活帰りに変質者や不審者に遭っているという報告が、今年はちょっと少なめですけれども、やはり3件くらいはあります。そのうち、警察にすぐ届けたもの、届け出ないで家に帰ったものとかいろいろあるわけですが、都度、見守りをいただけるということであれば、例えば、お声かけをいただいたり、そういう人たちの抑制にすごく効果的だと思っております。

学校でも、部活が終わって、午後6時、6時半、7時くらいから巡回というのは、正直に言いまして、なかなか難しいです。部活の顧問以外で残っている方はそんなにたくさんいるわけでもないで、そういう活動を地域ぐるみでやっていただけるのは大変ありがたいです。

なお、補足ですが、中体連前などの期間限定にはなと思うのですが、厚別警察署様にこの期間は特にパトロールをお願いしたいということで毎年行っていただいております。特に、今年についてはその効果があったと思われます。中体連期間に不審者と遭遇した割合が非常に少なく、6月と7月はほぼなかったということで、大変ありがたいと思います。

○ ありがとうございます。

今、地域の話、学校の話と来ましたので、次は保護者のお話をお願いします。

○ P T A連合会の佐藤です。よろしくお願いいたします。

今お話しいただいた見守りの体制についてです。

朝、子どもが通学する時間が大体同じですので、その時間に集中して皆さんに見守りをいただいている、しかも、服装もわかりやすかったり、明るいので、見やすかったり

するのです。

つまり、夕方もないわけではないと思います。先ほどおっしゃっていただいたとおり、実際に見守りされていたり、青パト隊の方にも出ていただいたりしていると思いますが、もしかしたら、青パト隊が自分たちを見守ってくれているのだと子どもたちが余り認識していないのかもしれないなと思いました。また、冬期間の下校時間だと、暗い中なので、見守りいただいても、誰かが立っている、何となく見られていると思っているのかなと思いました。このようなことから自分たちの見守りのためにいてもらっていると認識していないのかもしれないなと思いました。さらには、下校時間も非常に異なるので、同じ時間帯にいても子どもたちが会わないことも実際にはあるかと思います。

そういう意味では、冒頭に事務局からお話がありましたように、見せる工夫が今後は大事になっていくかと思います。自分も仕事で防災を担当しているのですが、見守られていると意識することがすごく大事だと伝えていまして、これは子どもたちも同じかなと思います。ですから、見守られているのだと視覚的にわかるような状況をつくってあげるとするのは非常にいいことかなと思いますし、実際に犯罪の抑止力にもつながっていくのではないかと思います。

もう一点、子どもたちへの質問の4の知らない人に声をかけられて怖いと思ったということについてです。

例えば、私が子どものころは、飴をあげるとか、車の中から声をかけられたとか、次の日には学校の中で話が出ていたりしたのですが、怖いと思っていたかどうかというと、ちょっと微妙かなと思います。そういう意味では、子どもたちが怖いと認識していることがすごく大事なかなと思いました。

スクールゾーン実行委員会の中でもいろいろな話が出たり、後段でも出てくるといいますけれども、子どもたちがまちの安心マップをつくってくれたりして、防犯という意識づけに学校の先生方もすごく力を入れていただいて、こういう人は危ないよ、こういう声かけは危険だよと周知していただいているからなのだろうと思います。こういう活動は、保護者の目からすると非常にありがたいことで、外部からも評価されていいところだと思います。

今後の課題というか、今考えましたら、怖いと思わせないような人が出てきたときに、子どもたちがもしかするとついていってしまったり、だまされてしまったりする可能性があるのかなと思いました。自分の子どもも今は中学2年生ですが、まだまだ何でも判断できるようには見えないので、知っている人っぽいとか、古い手ですけれども、お父さんに頼まれて来たと言う人についていたりしないだろうか心配です。そういうところがうまく啓発できるような形が見えたらいいのかなと思います。

○ ありがとうございます。

神さん、お話ししていただけていいですか。

○ 少年補導員の神です。

平成30年の活動は、ほぼ予定どおり終わっております。また、厚別区には6カ所の交番があって、それぞれ10名から15名を配置して、地域と協力して活動するように

しております。

見守りということですが、私は、昨年2月まで2年間、青葉小学校の青パト隊として下校時に回っていました。学校からはとても感謝されましたけれども、今は休止しております。

ただ、塾帰りの事件があったときに緊急呼び出しということで回りました。事件直後は、多数の方が青葉町内や小学校近辺に立っていたのですが、2日後に逮捕されたら、ほとんどいなくなりました。

回ってみて、やっぱり地域は地域で守るという考え方でいうと、防犯関係、町内会、警察の方を含めて皆さんが一致団結しながらやっていけばいいと今までずっと言われていました。これがまだずっと言われて続けていますね。やっぱり、地域の見守りもそうですけれども、団体がまとまり、代表者が集まって、どうあるべきかということを実際に考えなければ守っていけないのではないかと考えております。

それから、学校統廃合の話が出ていましたけれども、来年4月から、青葉小学校と上野幌小学校が統合し、新札幌わかば小学校が開校します。先日、見守る会、スクールゾーンの会議があって、冬は雪の問題、交通事故の問題、夏は不審者の問題もございますけれども、南郷通から上野幌小学校の間に南郷通側にも低学年の小学生がかなりいます。それで、いろいろと問題になっているのですけれども、何もかも要請してできるわけでもないと思います。やはり、地域の各団体が協力して、PTAも入って、PTAの方もこれからは見守りについても考えるということをしていましたけれども、そういう方向でいかなかったらいつまでたってもだめだと思います。

それと、老人クラブですけれども、元気な高齢者の方は、これから地域の見守りの中心になっていただかなければいけません。ただ、効果が見える、やりがいのあるという点ではまだまだだと思いますので、そういうことも考えながら、地域全体で本人もやりがいのある見守りにシフトを切っていただければと思います。

自分も回ってみましたが、確かに、人の目が多ければ不審者は寄りつきません。ですから、朝の登校時は指導員の方々がいますけれども、帰りは本当に遠いところをひとりとか、今度、統合された場合は上野幌から南郷通の近くまで行くということで、これは大変な問題なので、その辺は地区で立っていただくか、見守り隊をつくることになると思います。

来年4月です。今回も、各団体、その他PTAクラブの皆さんと協力しながらやっていけばということも話にありますけれども、現実的にそういうふう集めるにはどこかがかじを切らなければならないと思っています。

私もこれからも青葉地区への働きかけは行っていきたいと思っています。

○ ありがとうございます。

今の神さんのお話の中で、されている方のやりがいということがありました。先ほど佐藤さんからお話がありましたが、子どもたちの意識を学校もつないでいただきたいと思います。

私も、今まで活動の中で、青パトの方を学校に紹介していなかったということに気が

つきました。その方が集まって保護者と一緒に回るということはやっているのですね。普段立ってくださっている交通指導員の方など、スクールガードの方を呼んでお話をしてもらったり、声をかけてもらっているのですが、青パトの方についても学校としても意識を向けていきたいと改めて思いました。

○ 保護司会の山本様はいかがでしょう。

○ 週に1回、私の家内も交通指導などで交差点で子どもたちの登下校を見守っていますが、以前から見たら、子どもたちの礼儀正しさは非常に顕著です。

また、厚別警察署から事件・事故のメールが入るのですが、一般の人が目に見えないところで事件や事故が多発しています。先ほど神さんがお話をしていましたけれども、青パトもそうですが、子ども110番の家のステッカーについても情報交換ができればなおいいのかなと考えています。

我々はいろいろなものを担当しているのですが、厚別全体としては減っているというか、安定してきています。これがいつ突発的に増えるかはわかりませんが、平成の1桁のころを考えると、暴走族やシンナーなどがものすごくありましたが、その親が40代、一部が50代に入ってきています。その子どもたちがその時期に来ているのかなと思います。東京のほうでは、暴走族などが徐々に増えてきています。

先般、1月14日の厚別区の成人式を拝見しますと、1,223名のうち、出席者が930名ということで、大体76%ぐらいだったわけですが、去年や一昨年からしますと、すごく落ちついてきたなと感じています。指導すると、素直に会場に進んでいただけるのです。ある意味、市役所からのいろいろな指導があるのでしょうし、地域の方たちの連携が少しずつ生かされてきているのかなと拝見しました。

今後とも、警察や消防、少年補導、あるいは、学校も含め、地域が連携し、集中してやっていただければ、効果がなお一層出てくるのかなと思いますので、ひとつよろしく願いいたします。

○ 北海道コカ・コーラボトリングのお立場からお話をいただけますか。

○ 弊社は、皆様もご存じのように、飲料を取り扱う会社ですが、地域貢献活動として、全国的にさまざまな活動しております。今の山本さんのお話にもあったように、横の連携が非常に重要なのかなと捉えています。

弊社もCSR活動をずっとやってきましたけれども、どちらかというと、過去は行政に対して言うところが強かったです。ただ、一定の基盤ができたので、今は横の連携を広げようということで、いろいろなことをさせていただいております。

子ども110番の家というお話もありましたけれども、弊社の営業車には子どもを守ろうというステッカーを張っております。今は、北海道、札幌市が所管なのかと思いますが、私の認識が間違いでなければ、あれを立ち上げたのは、スタートになったのは弊社だったのかなと思います。このスタートのきっかけとなったのは、今、国会議員をやられている当時北星余市高校の先生です。あの方が弊社の営業大会に来られ、講演をしたのですね。そこで、子どもを守っていききたいという思いが強く発せられ、その中で弊社として何かできないかと考え、営業車にステッカーを張る活動をししようとなった

のです。

先ほど、朝は見守る方が比較的多いのですが、夕方の下校時はというお話がありました。その夕方の時間帯に決められたエリアを走ることは不可能ではありますが、スーパーマーケットやドラッグストア、もしくは、企業や施設に向け、営業の人間がいろいろなところを走りますので、啓蒙、啓発していただきたいなと思います。

やはり、子どもたちを含め、認知度が高まってきたら、犯罪はもっと減るのかなと考えていますので、できることは限られているかもしれませんが、横の連携を重きに置いて今後もお手伝いできればと思っております。

○ 大変心強いお話でした。

それでは、警察からお願いいたします。

○ 先ほど山本さんが言ったとおり、安定期に入っているのかなと感じています。皆様の見守りのおかげで前兆事案が減ってきました。

というのは、重大な性犯罪の発生を抑制するため、その前兆と見られる声かけやつきまとい等が発生した段階で我々が相手を特定して、指導、警告するという先制的・予防的な活動を実施しております。

その中で、前兆事案については、平成30年中は105件で、前年比マイナス44件です。これは少ない数だと思います。やはり、皆様の見守りや青パトの活動のおかげでこのような結果になったと思っております。

なお、これはあくまで手集計です。

事案別に言うと、公然わいせつという下半身の裸の人と会ったものです。

次に、軽犯罪法違反という不審な男につけられましたという届け出です。

次に、迷惑防止条例です。これは、痴漢や盗撮、あるいは、卑猥な言動、簡単に言うと、足をさわる、スカートをめくる、これは卑猥な言動になります。また、盗撮目的のものです。今、携帯電話やカメラの差し向けというものがあるのですが、これは法改正になって、適用できることになっております。

そして、一番多いのが声かけ事案です。声かけ事案はおよそ48件です。それでも、前年比マイナス52件ということで、かなり減っています。皆さん方が先ほどおっしゃっているとおりでして、やはり、皆様の警戒や見回りで相手方が警戒した結果なのかなと思っています。

今年に入って、1月中の発生は4件あります。ただ、これは、子どもの被害ではなく、全部が成人女性です。前兆事案というのは、18歳未満の子ども、これは男の子と女の子、また、13歳以上の女性になっております。

今のところ、子どもに対する声かけ等はないのですが、雪解け時期や夏場など、あるいは、部活帰りや児童会館からの帰りが多くなっておりますので、それを皆様の念頭に入れておいていただき、警戒を強化していただきたいと思います。

○ ありがとうございます。

お話を聞いていて思い出したのですが、公園で写真を撮っているおじさんがいて、それを子どもが学校に知らせに来たのです。風景を撮っているものなのか、写真を見せて

くれとは私たちもなかなか声をかけられませんでした。ただ、私たちが行ってもそこに居続けたので、多分、怪しくない人だよということでは言いました。

そういった情報は警察にもあげたほうがいいですか。

- 例えば、そういう届け出が学校にあったとします。そして、まだ相手がいれば連絡してください。私たちがすぐ行きます。それで、任意とはなりますが、見せてくれと言って確認いたします。

- よろしくをお願いします。

何か言い漏らしされていることはありませんか。

- この資料1についてです。

そういう不審者が出てくるのは、大体は下校時が多いのではないかと思います。ここをどうやって地域で協力する人を増やすかということは考える必要があるのかなと思います。

なぜ登校時がいいかというと、30分ぐらいだからで、この時間に立っておいてくればいいのです。しかし、下校時は時間が非常に長いのです。その間ずっと見ていてくれとなると、見る人にとっては大変な負担だと思うのです。逆に、この時間を重点的に見てくださいますと、あの時間以外ならいいのだなと不審者は思うかもしれないのです。

ですから、放課後に立っている人がいることを見せることが必要なのだと考えれば、公表する必要はないのですけれども、この時間に立ってもらえればいいという地域への働きかけをしてもいいのかなという感じがします。

今のは一つの例ですが、下校時に協力できるようにするための知恵を少し働かせる必要があるのかなと感じました。

- それに関しては、学校から町内会なりにこの時間帯に何とかお願いしますというような一言があれば、町内会としても動きやすいのではないかなと思います。つまり、学校からこういう要請がありましたので、私たちも動きましょうという声かけをしやすいのではないかなと思いますので、できたらスクールゾーン実行委員会のときなどにそういうお声がけをいただけたらなと思います。

- 小学校と中学校で足並みをそろえてお願いしていくようにしたいと思います。

ほかにいかがでしょうか。

では、阿部市民部長からお願いします。

- 先ほど校長からもありましたけれども、9月の地震についてです。

発災は夜中でしたが、その際に町内会の皆さん、そして、民生委員の皆さんに見守りをすぐにやっていただきました。また、今日は学校からお2人の方が来ておりますが、学校を避難所として開設していただきました。いろいろとご迷惑をおかけしましたが、本当にありがとうございます。

また、団体の方にもこのときにはいろいろと協力していただきました。さらには、北海道コカ・コーラボトリング様には、無償でペットボトルの提供をしていただきました。

このように、地震の際に協力していただき、ありがとうございます。

あのか、私ども行政も、力不足ではあったのですが、いろいろとやらせていただきました。しかし、単独ではなかなかできないことも、皆さんが協力し合えば本当に大きな力になると改めて実感いたしました。この防犯につきましても、地域、行政、学校など、皆さんが協力し合えば大きな力となって犯罪を防げるのではないかと考えております。

資料1は、2年ぐらゐ前に調査したものです。

先ほど佐藤副代表から、視覚的なものや時間の関係で、たまたま見ていない人もゐるのではないかというお話がありました。ただ、現実的にゐないというものが相当多く、実際にも少ないのかなと思っています。

これは、交通安全指導員や交通安全母の会、スクールガード、青パトなど、皆さんに一生懸命やっけていただけてゐるからだと思います。その中で、田中会長から時間制という話もありましたが、ぜひ皆さんでいい方策を考えていただければと思います。

○ ありがとうございます。

以上で意見交換を終わります。

【4】報 告

○ 次に、4の報告に入ります。

子ども110番の家登録状況について、事務局から説明をお願いいたします。

○ 子ども110番の家の登録状況、そして、実施の概要についてご説明いたします。

資料2をご覧ください。

まず、制度の概要についてです。

先ほどの意見交換にもありましたとおり、子どもの見守りと連動する内容となっております。子どもたちが登下校時などに不審者から声かけや痴漢、つきまとゐなどの行為を受け、身の危険を感じたとき、避難場所として駆け込んで、一時的に保護を受けられる場所です。

子ども110番の家を学校や町内会等が継続的に活動できるよう、市役所が支援を行う制度としまして平成27年度から実施しております。

区役所では、この登録手続、登録世帯へのステッカーの配布などを行っており、例年、6月に市役所の区政課から子ども110番の家の支援事業の案内を各小学校、既に登録している団体、未登録町内会にお送りし、7月末をめぐに区が取りまとめを行っております。

厚別区では、まちづくりセンターや先ほどお話しいたしましたスクールゾーン実行委員会などを通じて設置の働きかけを行ってゐるところです。

今年度は1団体増え、計7団体となっております。また、申請者数は542件と、昨年度から100件ほどの増となっております。

先ほどもお話しさせていただいたのですが、不審者や不審者情報に対して地域が見守っているということを見せることがとても大切です。また、このステッカーを張ることによって抑止効果がかなり高いという報告もあります。

今後とも継続していろいろな機会に子ども110番の家の普及と働きかけを行って
いきたいと考えております。

○ ありがとうございました。

今の説明についてご質問等はございませんか。

○ 私は青葉に住んでいるのですが、青葉ではステッカーを張っているから事件がないの
かなと思っています。子どもたちが実際に逃げ込んだことはありませんが、張っている
だけで意識が高まり、現実はわかりませんけれども、不審者も寄ってこないのではない
かという学校の話がありますので、やはり地区で集中的に張ったほうがいいのかなと思
っています。

○ ほかにございませんか。

○ 資料2によると厚別通小学校が一番多いのですね。これは、PTAが主体となって取
り組んでいるのでしょうか。

○ 私が教頭だった平成28年のとき、市役所、教育委員会に全部の学校の教頭が集めら
れ、やりなさいという強いお達しがあったのですね。そこで、何人かで校区中のお家と
商店街を回りまして、もともとやっていたところにプラスで確認作業をして
いたのですね。もうきついなと思っていたら、町内会が協力してくれることになり、そ
れでぐんと増えてきたのです。

最初は申請数28件だったのですが、町内会にご協力をいただいて増えてきたという
ことです。

○ やはり、地域と連携できたわけですね。

たしか、青葉地区は地域が主体的に取り組んでいますよね。

○ 学校にメインでやっていただいているので、学校の負担がすごいのですね。ですから、
地域で少しは協力しなければだめだということは言っていましたね。

○ 結局、積極的に取り組んでいるところが結構多いのかなと思います。だから、地域と
学校がどうやって結びつくかで、それによって増える可能性があるのかなと思います。

○ たしか、区役所の方のほう詳しいかもしれませんが、まちづくりセンターの
方からも町内会の方に強く働きかけてくださって、こういう結果になっていると認識し
ております。

○ まちづくりセンターからも働きかけをいろいろとさせていただいております。

○ ですから、学校も遠慮せず、各地域に協力していただいたほうがいいのかなと思いま
す。学校からの協力があれば、取り組みが変わってくるのかなと思いますので、学校と
地域の連携を考えたほうがいいのかなと思います。

○ 私たちのところは本当に感謝しているところです。ほかの学校との集まりがあります
ので、確認してみます。

○ 特定の地域しか増えていけないので、私どもとしてもそれをどうやって解決しようか
とは考えていました。この場には学校や地域の方が集まっていられちゃいますので、こ
ういう場を利用し、地域と学校で話をいただければいいのかなと思っています。

というのは、私どももここでの周知ぐらいしかやっておらず、あとはまちづくりセン

ターからお願いしている程度です。年2回の会議だと周知がうまくいっていないので、できれば地域と学校の皆さんが話し合っただけだと思っております。

抑止効果はあるということがわかっていますので、地域と学校、できれば、佐藤副代表の区P連にも入っただけだと思っております。

- 私どもの町内会でも年に1回ぐらいですが、協力してくれという回覧を回しております。でも、思ったより増えないのです。ですから、学校から声をかけていただくと変わってくるのかもしれないですね。

- 校長先生のところはそういう実績をつくっていますのでね。やはり、学校にやっていただくとこういうふうが増えていくということがはっきりわかっているのであれば、それもいいと思います。

私どもも校長会と相談しながら考えたいと思います。

- ありがとうございます。

それでは、ほかにありませんか。

続きまして、共栄小学校地域安全マップ開催結果の概要について、事務局から説明をお願いいたします。

- 共栄小学校の地域安全マップの開催結果をご説明いたします。

資料3をご覧ください。

これは、子どもたちが実際に校区内のフィールドワークに出かけ、マップづくりをし、犯罪者が好む入りやすく見えにくい場所を自分たちで見つけ、地域の安全・安心について学ぶもので、厚別区では、毎年、共栄小学校の3年生が実施しています。

児童80人ぐらいが4、5人のグループをつくり、町内会の方やPTAの方と一緒に校外の探検を行い、その後、地図をつくり、自分たちの体験をまとめた発表を父母の参観日に合わせて行います。

この際、区の職員は、学習をサポートするアドバイスをするということで、導入のところで説明するほか、同行したり、機材の貸し出しを行ったり、町内会やPTAの参加する皆様へアドバイスなども行ったりしております。

現在、これは、共栄小学校1校での実施となっておりますが、各小学校においても、交通安全と防犯のために、危険マップやヒヤリマップ、安全マップという名前で通学路などの安全・安心情報を家庭や子どもたちと共有している学校がたくさんあります。区役所といたしましても、現在行っている学校に限らず、そういう活動を行っているところに何らかの形でお手伝いができればと考えております。

- ありがとうございました。

今の説明についてご質問等はございませんか。

- 各小学校で安全マップや安心マップをつくっているのかなと思います。私が前にいた小学校でもつくっていました。しかし、それぞれの学校でつくっているもののフォーマットがばらばらでして、厚別東小学校ではホームページにアップしていたのですが、見づらいということもありました。

そこで、もし可能であれば、見本のようなものといえますか、こうやってつくっては

いかがでしょうかというものがあればと思います。各学校では何をマップに盛り込むかも悩んでいるのですね。これを統一する必要はないのでしょうかけれども、どういうものが必要なかが選びやすくなるのかなと思いますので、お願いできればと思います。

- 私どもでも、全部の小学校のスクールゾーン実行委員会に参加させていただき、それぞれの学校でのいろいろな活動のお話を聞く機会があります。スクールゾーン実行委員会では、こういう地図の配布を行っているところが多々ありますので、そこに了解を得ながら、活用できる何らかの方法を考えたいと思います。

- ほかにございませんか。

続きまして、平成31年度の事業計画について、事務局から説明をお願いいたします。

- 資料4をごらんください。

来年度の平成31年度の事業計画についてご説明いたします。

基本的な事業計画は今年度と同様です。

まず、防犯ネットワークの上段のところをご覧ください。

今年度中にネットワーク通信第7号を発行いたしまして、区域の町内会に回覧する予定です。

防犯教室については、30年度は1校で実施しまして、児童280人の参加を得ております。来年度は7月上旬を予定しております。

当ネットワークの方向性としましては、毎年、数校程度で開催を継続し、5年ほどで厚別区内の全小学校で開催することにしておりますので、特段の不都合がなければ、来年度も現行の方法で継続してまいりたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

来年度の実施時期と方針につきましては7月上旬に例年お願いしておりますうさぎママのパトロール教室の武田先生にお願いしたいと考えております。

なお、事前調整のため、7月早々には開催内容を徹底する必要があります。既に昨年11月の小学校長会で実施を希望する小学校の照会をしております。現時点での申し込みは1校となっております。

今後、千葉代表と事務局との間で調整の上、開催準備を進めてまいります。

次に、来年度の第1回の防犯ネットワーク会議についてです。通して第16回目となりますが、防犯教室が終わりました7月から8月に開催する予定です。第2回ネットワーク会議は、年明けの1月から2月に開催する予定です。

下段をご覧ください。

厚別区役所で実施いたします地域安全マップと防犯パネル展ですが、こちらも例年どおりの開催予定です。

なお、地域安全マップにつきましては、2月の小学校長会で改めてご紹介させていただく予定です。

- ありがとうございます。

ただいまの件についてご質問はございませんか。

では、ほかに議題提案など、ご発言をされる方はいらっしゃいますか。

それでは、進行を事務局にお戻しいたします。

【5】閉 会

○ 千葉代表、ありがとうございました。

皆様の活発なご意見もあり、実のある会議となりました。皆様、本当にありがとうございます。

それでは、これにて防犯ネットワーク会議を終了いたします。

お疲れさまでした。

（文責：厚別区市民部総務企画課地域安全担当係）